

# 全国一般大阪

2010年  
3月9日  
NO.611

全国一般大阪地方労働組合  
大阪市東成区中道3-2-34  
TEL 06-6977-9381  
FAX 06-6977-9382

## 2010春闘要求状況

組合名	要求額	諸要求
ゾーマーケティング*	15000	年間一時金8ヶ月、パート時給200円
S Y C	10000	年間一時金5.2ヶ月
茨木自教	10000	定年年長
日照	10000	夏季一時金2ヶ月+10万
永大産業	9025	夏季一時金2.5ヶ月、年間休日増、有休取得率増
加美電子工業	7000	
研	7000	退職金規定見直し
M D	5000	退職金を中退共へ移行
印刷之世界社	10000	退職金規定を設定
ダイヤケミカル	9000	パート時給50円

### 2010春闘スタート 確信のもてる要求で奮闘を!

2010春闘は、1月末の全国一般大阪春闘討議集会・臨時大会のなかで春闘方針を決定以降、各職場段階で職場討議を重ねて、確信のもてる要求づくりで奮闘している。こうしたなか連合は、2月12日、日比谷公会堂において2010春闘・闘争開始宣言中央集会を開催し、スタートした。スローガン「政策制度の要求と労働条件交渉を両輪にすべての労働者の生活の安定を実現しよう」を基本にとり、ことや中小共闘、パート共闘、非正規労働者からの決意表明・アピールがなされたが、賃上げ、格差是正の視点が弱く、盛り上がり欠けたものであった。また、府本部第125回中央委員会が2月15日、開催され、府本部春闘方針、参議院選挙闘争（比例区・江崎孝、選挙区・尾立原幸候補）推進など闘う体制づくりを決定した。

全国一般評議会は2月18日、第14回組織討議委員会を開催し、労金・3県問題・空白県対策とともに、全国一斉労働相談のとりくみなどについて確認した。

こうした状況のなかで全国一般大阪は、第5回執行委員会を2月23日開催し、春闘の情勢・現状分析などを行った。2010春闘は、困難な職場を含めてベアを要求して闘い、組織拡大とともに自治労との完全組織統合2年目の共同行動を積極的にとりくみ、統一要求・統一交渉・統一闘争をとりくむとともに、回答を引き出し相場形成と波及効果をもたらすことが大切であり、春闘の意義を再確認し、奮闘することと協議・決定した。また、春闘を闘うにあたって第4期・第2回ユニオンスクール（2・17）では労働基準法・労働組合法の基本やQ&Aと日常的なとりくむ課題などを学習を深めた。

自治労府本部・公サ評と全国一般大阪との共同行動の一環として、労働相談担当者学習会（2・25）、組織拡大駅頭情報行動（3・8）を展開し、3月19日21日の連続労働相談体制作りを行い、未組織労働者の組織化や労働相談への対応を展開している。とくに、今年から地本ホームページを8年ぶり更新したことの影響もあり、インターネット・Eメールの相談が急増しており、体制作りが求められている。

こうした中で連合大阪は3月5日、春闘総決起集会を開催し、すべての仲間と団結で奮闘してとりくむことを確認しあった。

全国一般大阪は今春闘では、4月1日には第1回単組代表者会議を開催し、春闘の中間点検を行うとともに、4月段階では、地本執行部を中心に各職場オルグ団を結成し、春闘の点検と激発行動を展開する。そのため各職場で2010春闘は、要求を組織し、すべての職場でとりくむとともに闘う体制作りを確立し、全員参加体制を確立し、奮闘しよう。

3月8日、JR京橋駅及び天王寺駅周辺において、総勢80名の仲間が、1万枚のティッシュ・ビラマキと各ラマキ（5千枚・個）を展開した。昨年から今年にかけて景気動向の低迷とそれに伴う経営側のリストラ攻撃は正規・非正規労働者を問わず横行し、大阪地域では失業率が7%台と悪化している。具体的に全国一般大阪では3月に入り、インターネット・ホームページを中心に解雇3件（正規2名、非正規1名）の相談に対応している。これから3月の年度末決算のなかでさらに、雇用調整助成金活用の増加や金融機関の貸し渋り・貸しはがし問題が深刻化しつつあり、予断を許さない状況が続いている。

こうしたなか今年も、全国一般評議会が全国一斉に労働相談を設定し、各地方組織の実情に合わせて、可能な範囲でとりくむことを基本に、自治労各県本との連携で、統一共同行動を実施する意義のある行動提起である。

こうした提起を受けて大阪では、昨年に引き続きJR京橋駅と天王寺駅周辺において、自治労府本部・公サ評と全国一般の仲間は仕事帰りの労働者・市民に2010春闘未組織労働者の組織化など相談活動・行動を展開し、ハンドマイクで呼びかけた。

こうした行動をうけて、3月19日から21日（10時〜19時）の3日間連続労働・電話相談に対応していくこととしている。

### 組織拡大駅頭情報行動



3月8日、JR京橋駅及び天王寺駅周辺において、総勢80名の仲間が、1万枚のティッシュ・ビラマキと各ラマキ（5千枚・個）を展開した。昨年から今年にかけて景気動向の低迷とそれに伴う経営側のリストラ攻撃は正規・非正規労働者を問わず横行し、大阪地域では失業率が7%台と悪化している。具体的に全国一般大阪では3月に入り、インターネット・ホームページを中心に解雇3件（正規2名、非正規1名）の相談に対応している。これから3月の年度末決算のなかでさらに、雇用調整助成金活用の増加や金融機関の貸し渋り・貸しはがし問題が深刻化しつつあり、予断を許さない状況が続いている。



こうした提起を受けて大阪では、昨年に引き続きJR京橋駅と天王寺駅周辺において、自治労府本部・公サ評と全国一般の仲間は仕事帰りの労働者・市民に2010春闘未組織労働者の組織化など相談活動・行動を展開し、ハンドマイクで呼びかけた。

こうした行動をうけて、3月19日から21日（10時〜19時）の3日間連続労働・電話相談に対応していくこととしている。

### 連合大阪2010春闘総決起集会

3月5日、扇町公園において連合大阪の決起集会に700人が結集し開催。地本から14組合・支部45名が参加した。同時に、大阪府下17カ所の駅頭でビラマキ・情報行動を展開した（働くすべての仲間の雇用維持



3月5日、扇町公園において連合大阪の決起集会に700人が結集し開催。地本から14組合・支部45名が参加した。同時に、大阪府下17カ所の駅頭でビラマキ・情報行動を展開した（働くすべての仲間の雇用維持



と生活の安定をめざして」をスローガンに主催者あいさつ後、6職場・地域からアピール①中小労組、②医療介護、③非正規労働者、④女性、⑤青年、⑥高齢者のそれぞれ立場から提言した。集会は、2010春闘が山場を迎える中で個別単組が場を巡る中で個別単組が

### 青年部全国交流会報告速報!



3月6〜7日、石川県にて第7回青年・女性部交流会が開催されました。13時半開始、主催者挨拶として三木全国一般中央評議会副議長があり、続いて大谷石川労組青年部部長の挨拶がありました。

歓迎挨拶では荒木石川地方労組委員長、高自治労石川本部委員長の挨拶があり、メッセージ紹介を経て、第1講座「毎日新聞社会部記者」菅困の現場から見た非正規労働者の実態と労働組合の役割」となりました。この講演では現在の非正規労働者が置かれている非常に厳しい現状を生々しく、時には涙ながらに講演して下さいました。第2講座は3つのグループに分かれて分科会を行い、東海林先生の講演について一人一人感想を出し合い意見交換をしました。休憩の後、懇親会が行われ2次会もあり、他地本労組と交流を深める事が出来ました。2日目は分科会でのまとめを各分科会の座長が発表をし、続いて各分組青年部の活動報告を経て、シニブレヒコール・閉会挨拶・記念撮影・解散となりました。今回の青年・女性部交流会、本当に勉強になり、楽しい交流会であったと思います。色々勉強になった事や楽しかったエピソード盛り沢山なのですが、詳細は青年部・小野里幹事にレポートお願いしているので、次号をお楽しみに!（青年部・吉岡書記長記）



駅頭情報 JR森ノ宮駅





2月21日、地  
本事務所、地  
30名が参加  
し、標記の総会  
を開催した。  
総会は、岸田副  
委員長が開会、  
議長に小倉執  
行委員長を推選  
議事を進めた。  
冒頭あいさつ  
に立った新村

委員長は「厳しい経済・雇用動向のなかで中小の仲間は奮闘している。ユニオンの各支部のとりくみをお互いに支えあうことが大切である。1年間の活動と方針を確認しあおう」と呼びかけた。

木下書記次長が1年間の活動報告、活動方針を提起報告では、倒産破産で労働債権確保で闘うアステックコーポレーション、勝富支部の闘い、解雇・不当労働行為と闘う日本制御機器、レナウン支部の闘いとあらたな相談・加入の仲間の実態が示された。道徳書記長が補充・労基法・労組法など組合活動に必要な資料に基づく説明を行った。参加者の自己紹介と職場の現状と課題を報告した。印刷之世界社、ダイヤケミカル、勝を運輸、レナ



ウン支部の闘いと現状の報告、新加盟支部では解雇で闘う京阪互助センター、丸協運輸支部を紹介、総会は、職場で闘う仲間の支援・連帯と新役員体制を確認した後、懇親・交流を深めた。



2月25日、PLP  
会館で標記の学習会  
を21名の参加で開催  
した。3月8日、駅  
頭情真、3月19・21  
日の連続労働相談に  
向けて、自治労大阪  
公サ評・全国一般共  
同行動委員会の仲間  
を中心に道徳事務局  
長が司会進行、喜多  
代副委員長が主催者  
あいさつ後、福島幹  
事(全国一般)が労  
働相談対応に向けた  
基本的な考え方や、心  
構えについて提起し、次いで都留幹事(自治労)  
が府本部・公サ評の闘い、「大阪市障害者福祉社  
ポーツ協会の雇止め闘い」報告、池堂地本執  
行委員(全国一般)が民間職場の困難な闘いの  
報告を行い、質疑・討論した。自己紹介を兼ね  
た発言では、総じて今回のような学習会の設定  
を今後も継続していく必要性が重要とした。と  
くに双方の組織実態や職場の現状について  
互いに認識しあう必要があるとして  
て学習会や共同行動の必要性を確  
認した。

2月28日、地本事務  
所定期大会を開催  
した。昨年の定期昇  
給凍結(継続協議中)  
のなかで2年連続の  
定昇凍結は許されな  
い立場から、2010春闘は、賃上げ1.5  
000円、年間一時金8カ月、パート  
など時給200円アップなどを決定し  
た。新役員では、井上委員長・境野書  
記長体制を確認し、スト権100%を確  
立、闘う体制を決定した。

- 団体交渉日程
- ・3・9(火) 11時丸協運輸支部
  - ・3・16(火) 13時MDD労組
  - ・3・26(金) 10時ダイヤケミカル支部

ソニーマーケティング労組

定期大会開催

2月28日、地本事務  
所定期大会を開催  
した。昨年の定期昇  
給凍結(継続協議中)  
のなかで2年連続の  
定昇凍結は許されな  
い立場から、2010春闘は、賃上げ1.5  
000円、年間一時金8カ月、パート  
など時給200円アップなどを決定し  
た。新役員では、井上委員長・境野書  
記長体制を確認し、スト権100%を確  
立、闘う体制を決定した。



2月17日、地本事  
務所において、第  
4期第2回ユニオ  
ンスクールを30名  
の参加で開催、地  
本・仲副委員長(大  
阪硝子工業労組副  
委員長)が「労基  
法・労組法Q&A」について提起した。  
職場の日常活動や具体的な事例を示し  
ながら、労働基準法や労働組合法がいかに  
重要な問題であるか分かりやすく親切に  
報告・提案した。

今回は多くの若い活  
動家・組合員が参加  
し、スクールが身近  
なものになったので  
はないか。昨年同様  
各月として2ヶ月に  
1回の開催としてい  
る。次の参加を期  
待するとした。

ピラマキ抗議集会開催

配転強要、降格処分や不当労働行為に対して、昨年9月より旗揚げ、立て看板などを設置して争議を展開中。会社の不誠実な対応と闘いの前進をめざして、現地で抗議行動・集会を開催する。多くの仲間の参加を要請したい。

日時 2010年3月27日(土)  
13時30分  
場所 会社前

地裁・労働員会日程

- グロースサービス労組
  - ・対市交等交渉 3/17(水) 10時
  - 3/23(火) 14時
- ユニオンおおさか
  - レナウン支部  
「労働委員会」  
主審問 3/19 10時  
反対尋問 4/20 10時  
「労働審判」  
打合せ 3/11 11時
  - 日本制御支部弁論  
・地裁弁論 4/13 11時半



2月15日、PLP  
会館で代議員など  
120名余の参加で標  
記の会議を開催、当  
面の闘争方針など  
を協議・確認した。  
参議院選挙闘争で  
は、比例区・江崎孝  
補の推薦確認、質疑  
討論では、①府市水  
道事業統合問題の現状と課題、②後期高  
齢者の医療、③社会保険庁民間以降後の組  
織化の現状で発言、④全国一般からは福  
島代議員(地本副委員長)は、連合のベ  
ア要求断念は定昇のない中小にとつて  
は闘いが困難となる。下請け単価の切り  
下げ、組織拡大、派遣法改正、反戦  
平和のとらぐみなし民間の職場の闘い  
の現状と課題について報告した。  
委員会は、議案を採択し、役員補充  
闘争宣言案を確認後、山下委員長が団結  
がんばろうで終了した。

2月12日、標記の集  
会を日比谷公会堂で  
開催、古賀会長の主  
催者あいさつ後、中  
小共闘、パート共闘  
非正規労働者と政策  
制度要求アピールし  
た。南営事務所局長が  
2010春闘と課題を提起、闘争宣言を採択。  
2010春闘・闘争開始宣言のスローガン「政  
策制度の要求と労働条件交渉を高輪にすべ  
ての労働者の生活の安定を実現しよう」を  
確認したが、今春闘は、連合が統一ベアを  
設定せず、多くの大手産別が賃上げ要求を  
自粛しており、大手と中小の格差は正の視  
点が弱く、春闘本来の意義と労働組合とし  
ての任務と役割が問われている。今春闘で  
連合は、未組織労働者への波及を方針化し  
ているが、その効果が困難な状況となつて  
おり、期待感はないといわざるを得ない。  
こうしたなかで2010春闘は中小民間での  
闘いと奮起が求められている。



2月12日、標記の集  
会を日比谷公会堂で  
開催、古賀会長の主  
催者あいさつ後、中  
小共闘、パート共闘  
非正規労働者と政策  
制度要求アピールし  
た。南営事務所局長が  
2010春闘と課題を提起、闘争宣言を採択。  
2010春闘・闘争開始宣言のスローガン「政  
策制度の要求と労働条件交渉を高輪にすべ  
ての労働者の生活の安定を実現しよう」を  
確認したが、今春闘は、連合が統一ベアを  
設定せず、多くの大手産別が賃上げ要求を  
自粛しており、大手と中小の格差は正の視  
点が弱く、春闘本来の意義と労働組合とし  
ての任務と役割が問われている。今春闘で  
連合は、未組織労働者への波及を方針化し  
ているが、その効果が困難な状況となつて  
おり、期待感はないといわざるを得ない。  
こうしたなかで2010春闘は中小民間での  
闘いと奮起が求められている。

当面のスケジュール

【2010年3月】		
10~11	全国一般労働委員・労働審判員研修会	熱海・後楽園
12(金)18:30	派遣法改正改正・大阪結成集会	エル大阪
19:00	青年部春闘闘結ボウリング大会	枕全ボウル
13(土)13:30	府本部公サ評春闘交流集会	PLP会館
15(月)17:00	電子専門学校春闘臨時大会	職場
16(火)18:30	青年部幹事会	地本事務所
17(水)15:00	日本ヘルス工業労組春闘学習会	コロナホテル
18:30	第3回ユニオンスクール	地本事務所
18:30	第3回府本部自治研委員会	PLP会館
19(金)15:00	阪南地区協議会	サンスクエア堺
19~21 10時	連続労働相談	地本事務所
23(火)18:30	第6回執行委員会	地本事務所
24(水)08:00	日本制御機器ピラマキ行動	職場周辺
25(木)10:00	第5回五役会議	自治労会館
13:30	第4回幹事会	自治労会館
26(金)18:30	北大阪地区協議会	地本事務所
18:30	言語交流研究所オルグ	名古屋
27(土)13:30	茨木自教抗議行動	職場
29(月)18:30	自治研第4分科会担当者会議	PLP会館
30(火)18:30	東南地区協議会	サンビー労組
【2010年4月】		
01(木)10:00	第1回単組代表者会議	PLP会館
02(金)15:00	第2回関西ブロック幹事会	京都
03(土)18:30	第1回ユニオンおおさか執行委員会	地本事務所
07(水)13:30	府本部第7回執行委員会	PLP会館
16:00	府本部単組代表者会議	PLP会館
09(金)18:30	第5回日照定期大会	摂津
10(土)13:30	学習会・現代労災補償制度の問題点	連合大阪
17(土)18:00	第2回言語交流研究所定期大会	東京
17~21	中国黄土高原緑化事業	中国
20(火)18:00	職場のハラスメント対策	連合大阪